



OTOME-SAKURA Cherry Blossom

At Komine Castle, a beautiful cherry tree stands next to the three-story watchtower. According to local legend, a tree was planted in memory of a girl who sadly lost her life during the rebuilding of the castle. The original tree was burned down during the Boshin War and was later replaced by the current tree: the "Otome-Sakura" (Maiden Cherry). It blooms every spring, adding color to the castle's surroundings.

小峰城三重櫓の隣に咲く桜を知っていますか？

この桜の木は、小峰城の改築の際、人柱として犠牲になった娘を悼んで植えられました。初代の木は戊辰戦争の際に焼失してしまいましたが、現在は二代目「おとめ桜」が、毎年見事な花を咲かせ、城を艶やかに彩ります。



白河に来て、今年で3回目の春を迎えます。小峰城や阿武隈川沿い、市役所近くの乙姫桜などを見に行きましたが、一番好きな桜は南湖の榮翁桜です。濃いピンクのしだれ桜で、風に揺れる姿が本当にきれいです。

今年は、県内の一本桜番付表2019年版に掲載された「高萩の桜」(表郷小松)を見に行きたいです。

故郷メルボルンに花見の文化はありませんが、"Urban Forest Visual" というウェブサイトがあります。ここでは、市内に植えられた7万本以上の木の分布や種類、健康状態が一目で分かり、なんと、その木1本1本にメールでメッセージが送れます！植物を愛する気持ちは、世界共通なのかもしれませんね。



ウィルソン・リー先生
(オーストラリア)

英語でメールに挑戦してみては？

Urban Forest Visual

<http://melbourneurbanforestvisual.com.au/>



小峰城の石垣

市民の皆さんをはじめ、多くの方々から、復旧に向けた温かいご支援・ご協力をいただき、この春に、東日本大震災で崩落した小峰城の石垣復旧を完了することができました。

今月号から、災害復旧に関わる発掘調査や復旧工事で分かったことなどを、シリーズで紹介しします。



▲石垣の復旧が完了した小峰城

小峰城の石垣の断面は下図のとおりです。発掘調査の結果、表面に積まれた石（築石）と、その裏側を支える川原石（栗石）の層があり、さらにその後ろに盛土を行っていることが分かりました。

このような3層構造は、江戸時代から伝わる伝統的な石垣の積み方（伝統工法）で、全国の城跡の石垣に多くみられる構造です。

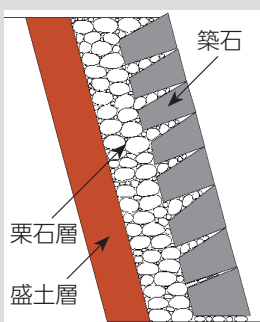
① 災害復旧で分かったこと ① 石垣の構造

現在地上に残っている小峰城の石垣は、総延長で約2kmありますが、東日本大震災で崩落した石垣の延長は、約160mでした。大半の石垣は、震度6強の揺れにも耐えました。

このような状況をもとに、小峰城の災害復旧では、文化財石垣として、伝統工法により修復することを基本方針としました。

石垣復旧メモ

石垣表面は、崩落前の写真を参考に元の姿に戻すことを基本としましたが、背面でも、発掘調査成果を参考に、築石や栗石層の幅などを決め、構造の復元を行いました。



▲小峰城の石垣断面と伝統的な石垣の積み方

文化財課 ☎ 2310